

第 63 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議 事 録

1. 開催日時 令和 7 年 10 月 6 日（月）13 時 30 分～15 時 00 分

2. 開催場所 奈良市役所 中央棟地下 1 階 B1 会議室

3. 出席者

会 長	奈良市長 仲川 元庸
委 員	近畿運輸局奈良運輸支局長 竹内 弘明 （代理）柏原 博人
委 員	近畿地方整備局奈良国道事務所長 河本 敦
委 員	奈良市中心市街地活性化研究会長 松森 重博
委 員	西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部阪奈支社地域共生室長 杉田 精教
委 員	公益社団法人奈良県バス協会専務理事 岩崎 靖彦
委 員	奈良交通株式会社取締役 大西 秀樹
委 員	奈良県タクシー協会奈良市部会代表 黒 利起
委 員	奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 渡邊 英一 （代理）杉本 晃男
委 員	奈良県奈良警察署長 中田 顕一郎 （代理）三宅 太
委 員	奈良県警察本部交通部交通規制課長 中谷 貴志
委 員	奈良県奈良土木事務所長 岸田 宰
委 員	奈良県県土マネジメント部次長 篠田 隆三
委 員	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長 牧田 孝光
委 員	奈良県産業部観光局次長 吉岡 佐枝子
委 員	奈良市都市整備部長 下谷 孝史

（欠席）

副 会 長	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井 聡
委 員	奈良市自治連合会代表 尾形 季久雄
委 員	公益社団法人奈良市観光協会会長 増尾 朗
委 員	近畿日本鉄道株式会社創造本部未来創造部長 山本 恒平
委 員	一般社団法人奈良県タクシー協会専務理事 葛城 滝男

4. 議事

■事務局より説明

- (1) 令和 6 年度決算と監査報告【資料 1】
- (2) 令和 7 年春期の取組概要と結果【資料 2】
- (3) 令和 7 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析【資料 3】
- (4) 令和 7 年春期の連携計画の目標達成状況【資料 4】
- (5) 令和 7 年秋期の取組方針（案）【資料 5】
- (6) 連携計画の見直し方針【資料 6】

■審議内容（主な意見）（□：会長、●：委員、○：事務局）

(1) 令和 6 年度決算と監査報告について

- ・決算について承認

(2) 令和 7 年春期の取組概要と結果について

- ：資料 2 の p.6 で、奈良公園ぐるっとバスの「ならまち・元興寺」停留所の乗車人数が大幅に減少しているが、降車人数の記録も取っていただきたい。やすらぎの道を通り、近鉄奈良駅へ行くルートが非常に有効なルートであると思う。奈良公園からの帰りにならまちへ行く必要があるのをお願いしたい。
- ：バスの運賃が前払いなので、乗車人数で整理している。降車人数で整理出来るかどうか、今後検討していく。
- ：夕方、大宮通りの西行きが非常に混んでおり、帰宅時は三条通りへ迂回するよう看板で案内されているが、もう少し効果的に周知できないか。三条通りの方が渋滞の影響が少ないことを案内していただきたい。
- ：帰宅時の渋滞緩和のため、三条通りを経由していただくことが重要だと思う。引き続き周知等を実施するとともに、方法についても検討していく。

(3) 令和 7 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析について

- ：資料 3 の p.13 で、菅原東交差点の三条通り側の渋滞長が 14 時 30 分頃にピークとなっており、令和 5 年度、令和 6 年度と状況が変化している。この時間帯の通過車両は観光客ではなく地域住民の買い物等の交通だと思うが、何か情報を把握しているか。
- ：どのような目的で通過されたかは把握していない。
- ：通過車両のナンバーをカメラで記録し、AI を活用することで、他府県からの観光目的の移動か、地域の方の移動か等推測できると思う。今後、調査方法を検討してほしい。
- ：資料 3 の p.5 で、県庁東交差点東側への交通量は令和 5 年度、令和 6 年度と同程度であるものの、観光バスの交通量が 9 時~10 時の時間帯で増加しているとあるが、原因や対策は考えているのか。また、資料 3 の p.6 について、大仏殿前駐車場出入口付近の横断歩道は、タクシー運転手からも、横断歩行者が多くなかなか通過できなかったと聞いているが、何か対策は考えているか。
- ：9 時~10 時の時間帯で観光バスが増加していることは把握しているものの、それ以上の

情報は把握できていない。また、大仏殿前駐車場出入口付近の横断歩道については、横断歩行者が多く、円滑な車両通行が確保されていないことは認識しており、現在対策を検討しているところ。

- ：大仏殿前駐車場出入口付近の横断歩道の問題は難しいとは思いますが、円滑な車両通行を確保するため、できるだけ信号機のある大仏殿前交差点の横断歩道へ人流を誘導していただきたい。
- ：横断防止柵を設けて信号機がある大仏殿交差点へ誘導するなど、方法はあると思うが、何か検討されているか。
- ：氷室神社前、大仏殿前駐車場出入口付近の横断歩道の人流が、交通渋滞の原因の一つであると認識している。これらに対し、どのような対策が出来るか引き続き検討していきたい。
- ：氷室神社前と大仏殿前駐車場出入口付近の2カ所に横断歩道があるが、これをどちらかにまとめることや、横断しないように横断防止柵を設置する等の方法もあると思う。
- ：資料3のp.9で、パーク＆ライドの流入抑制効果が示されており、その効果を見ると非常に良い取組だと思う。ただ、国道24号高架下駐車場と奈良市役所駐車場がいずれも満車となっており、これ以上の効果は見込めないと思うが、新たなパーク＆ライド駐車場を増やす計画はあるのか。
- ：秋の取組で、駐車場の増設を予定している。

(4) 令和7年春期の連携計画の目標達成状況について

- ・意見無し

(5) 令和7年秋期の取組方針（案）について

- ：これまでの取組の中で見えてきた課題への対応として、県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車をパーク＆ライド駐車場として検討していただけることとなった。また、駐車場の開設時間を延長し、夜間にシャトルバスを運行することとしている。これは、大阪方面への帰宅時間が集中し、渋滞に巻き込まれるのであれば、奈良の中心部で夕食を食べてから帰っていただくよう、行動変容を促すことを目的としている。
- ：パーク＆ライド駐車場の満空情報の発信は、利用者にとって非常に大事だと思う。この満空情報の把握は、駐車場の入口で人がカウントして情報発信するのか。
- ：手動でカウントし、Xに投稿することを想定している。将来的には自動化も考えられるが、まずは手動で取り組んでいきたい。
- ：将来的には、駐車場の入口にセンサーを設置し、自動で記録できると良いと思う。
- ：費用をかけずに自動で画像を分析する等、手法の検討をお願いしたい。
- ：特に県庁東交差点東側の先詰まりが課題であると考えている。信号機の制御等による交通管制に取り組んでいるものの、交通量が飽和するとどの管制も効かない状況となる。帰りの西行き交通は、信号機の制御により大宮通り、三条通りで渋滞の抑制効果は表れているが、県庁東交差点東側の交通量が多い状況。奈良公園への車両の流入抑制が進むことで交通管制の効果が現れるので、パーク＆ライドの取組に期待している。

- ：夜間シャトルバスを 21 時まで運行していただけることは、観光消費額の増加という意味でも、夜間まで奈良に滞在していただくための取組として非常に重要だと思う。県では、奈良公園バスターミナルに新たに飲食店を開店した。また、奈良市観光協会では若草山を周遊するバスを運行されている。そういった夜間の滞在時間を延ばす取組で良いアイデアがあれば共有していただきたい。
- ：奈良公園バスターミナルでも色々と工夫されていると聞いている。滞在時間を夜まで延ばすという意味では、パーク＆ライド駐車場を無人化し入出庫等を機械で自動処理すれば、24 時間開設も可能になり、パーク＆ライド駐車場までの移動手段があれば、観光客には時間を気にせず滞在していただける。秋の取組では駐車場は 21 時に閉まるが、データを取ることを考えており、需要があれば更なる延長も前向きに検討したい。
- ：来年度の取組に向けて、県と市で、必要な予算等も含めて協議していきたい。

(6) 連携計画の見直し方針について

- ：ぐるっとバスの見直しによる渋滞の悪化を懸念していたが、渋滞にそれほど変化はなかったと感じている。ただ、インバウンドが増加している中、一部のバス停留所には外国語を話すことができる係員を配置しているが、近鉄奈良駅や奈良国立博物館前、東大寺、春日大社等のバス停留所は付近の歩道が狭いため、バスを降車した方が路上を移動される状況が見受けられている。バス停留所のハード整備が必要ではないかと思う。
- ：春日大社前のバス停留所付近については、用地の問題等もあるので、実現可能性も含めて検討していく。
- ：近鉄奈良駅周辺や安全なバス停留所の整備は県・市両方の課題だと思うので、場合によっては近鉄さんも含め、しっかり協議させていただきたい。このような内容について、今年度改定する連携計画の中に記載するのか、事務局で検討してほしい。
- ：モビリティ・マネジメントの実施について、連携計画の改定案の中でも同様の記載となっているが、何か新しい対策を考えているか。
- ：具体的な部分はこれからとなるが、現在、奈良中心市街地を中心に 100 程度の事業者に対して毎年働きかけをしている。その対象を精査し、拡大も含めて検討していきたいと考えている。

5. 閉会

以 上